

2022年度北海道医師会医師賠償責任保険 見直しのポイント（既加入会員様向け）

※2022年度版北海道医師会医師賠償責任保険パンフレットと共にご参照ください

未加入会員様新規ご加入検討の際にも参考にしてください

1. 医師賠償責任保険の検討ポイント

- ▶ 対象：Bタイプご加入医療機関（医療法人、日本医師会A会員以外の勤務医師を雇用する一人医師医療法人）
- ▶ 関連法案等：民法、最高裁判決

見直しポイント ➡ 保険金額

タイプ詳細はパンフレット 6 ページにてご確認ください

2020年4月の民法改正による法定利率の変更と2020年7月の賠償金定期金払いを認めた最高裁判決により、今後賠償金の高額化が見込まれております。道内の医療事故でも、過去7年間で少なくとも9件以上の1億円を超える請求事案が発生（当社調べ）しております。よって医療上の事故に関する保険金額のより大きなタイプ(B14～)への変更をお勧めいたします。

※日医医賠償保険では1事故1億円・保険期間中3億円、日医医賠償特約保険に加入することで1事故3億円・保険期間中9億円の補償となります

<特に検討が必要な医療機関様の例>

- 急性期対応医療機関様
- 下記標榜科目を有する医療機関様

産婦人科、脳外科、外科、内科、循環器内科、耳鼻咽喉科

2. 医療機関用サイバー保険の検討ポイント

- ▶ 対象：北海道医師会医師賠償保険加入のすべての医療機関
- ▶ 関連法案等：改正個人情報保護法（2022年4月施行）

見直しポイント ➡ 加入タイプと費用部分保険金額

<加入タイプについて>

現在販売タイプはスタンダードプランと情報漏えい限定プランの大きく2タイプを提供しておりますが、昨今のリスクの高まりからサイバーインシデントも補償する**スタンダードタイプでのご加入（更新）**をお勧めいたします。もちろんサイバー攻撃のみならずFAX誤送信等の漏えい事案も補償対象です。

<保険金額について>

保険金額は賠償責任を負担することによって生じる損害を補償する金額と事故対応に係る費用を補償する金額の2本建てとなっております。

重視すべきは初期段階から発生する事が確実視される費用補償部分です。北海道医師会医療機関用サイバー保険では**Dタイプ（費用保険金額2,000万円）**をお勧めします。

次ページにて不正アクセスがあった場合の具体例（損害イメージ）をご案内します

具体例（損害イメージ）

ある日1台の会計システムのパソコンの挙動がおかしくなり、画面にみたこともない英語の文字が現れてファイルは全て閲覧不可能となった。（ランサムウェア感染）

会計システムならびに連携している電子カルテシステム画像診断系システムがすべて使用不能となった。

外来を閉鎖し専門業者に調査してもらった結果、不正アクセスがあったことは判明したが十分なログの蓄積がなく情報漏えいの有無までは判らなかった。

再発防止策を策定し、バックアップデータでシステムを再構築した。事前にマニュアル等を作成していなかった為、対応策の決定や関係機関への報告に膨大な時間を要した。

調査費用：530万円（PC3台、サーバー1台）

復旧費用：200万円（データ復旧、システム再構築等）

再発防止費用：350万円（新規セキュリティサービス導入、VPN仕様変更、職員再教育費用等）

本人通知等信頼回復関連費用：100万円

事故対応により追加発生した人件費：100万円

費用合計：1,280万円

【注】上記は仮想事故のシミュレーションであり、かつデータバックアップ等の事前対策を一定行っていた前提で試算したものです。

事前対策の有無とシステム規模により、上記費用と復旧までの期間は大幅に変わってくる上に、事前対策の実施状況によっては原因究明や再発防止策の策定にも大きく影響してきます。

3. 勤務医師賠償責任保険（個人契約）の検討ポイント

- ▶ 対象者：北海道医師会会員である勤務医個人
- ▶ 関連法案等：民法、最高裁判決

見直しポイント ➡ 保険金額

使用者だけではなく実際に医療に携わった先生個人の責任を追及されるケースが一定ありますので、今一度医賠の個人リスクに対応した保険のご加入状況を再確認下さい。前段の医賠のページでもご案内の通り、保険金額増額の検討をお勧めいたします。従来日医A会員である勤務医の先生向けに1型（日医免責部分を補填する商品）を提供してまいりましたが日医B・C・非会員の先生向けにより保険金額の大きい10型～300型をご用意いたしました。

※医療機関として勤務医の個人リスクをカバーする包括契約方式もありますが、医師賠償責任保険ご加入金額以上のタイプには入れません
（例：Aタイプご加入の場合、勤務医師包括契約方式で加入できるのは1型のみです）

日医会員区分		日医A②会員	日医B、C会員または日医非会員					
加入型		1型	10型	30型	50型	100型	200型	300型
保険金額	1 事故	100万円	1,000万円	3,000万円	5,000万円	1億円	2億円	3億円
	期間中	300万円	3,000万円	9,000万円	1.5億円	3億円	6億円	9億円
1 名当たり年間保険料		4,000円	14,200円	23,800円	28,704円	40,664円	51,568円	62,400円

4. 役職員傷害保険加入のおすすめ

▶対象：北海道医師会医師賠償保険加入のすべての医療機関
(被保険者は開設者、開設者の使用人その他開設者の
補助者で医療施設の業務に従事するもの)

▶関連リスク：新型コロナウイルス感染症

院内感染や家族からの感染（特定感染症）による入通院の他、通勤途上のケガや勤務中のケガ等による入通院や死亡、後遺障害対し、所定の保険金をお支払いいたします。

例）新型コロナウイルス感染症に感染し、医師の指示のもと、軽傷や無症状の方等がホテル等の臨時施設または自宅で療養する場合も「入院」とみなし、入院保険金の対象となります。

型	保 険 金 額			
D1型	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	特定感染症葬祭費用
	1,000万円	5,000円	2,500円	300万円限度(実費)
D2型	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	特定感染症葬祭費用
	2,000万円	7,000円	3,500円	300万円限度(実費)
D3型	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	特定感染症葬祭費用
	3,000万円	10,000円	5,000円	300万円限度(実費)

保険期間1年・団体割引20%・一括払

型		D1型	D2型	D3型
診療所契約 (1診療所 あたり)	一般診療所(無床・有床)	111,984円	184,448円	269,376円
	歯科診療所	70,904円	117,608円	171,936円
病院契約 (1ベッド あたり)	一般病床・療養病床	14,096円	23,032円	33,592円
	精神病床	8,240円	13,584円	19,832円
	結核その他病床	6,920円	11,464円	16,760円

※介護老人保健施設の定員数は「結核その他病床」、介護医療院の定員数は「療養病床」のベッド数とみなします。

ご参考

新型コロナウイルス感染症リスクに
対応する保険商品

①北海道医師会団体所得補償保険

- ▶対象者：北海道医師会会員
(被保険者は会員ならびに従業員)
※年齢制限がございます

【概要】新型コロナウイルス感染症を含む病気やケガで働けなくなった場合に就業不能中の収入を補償します。

②休業損失補償保険

- ▶対象：すべての医療機関
※加入者が北海道医師会会員もしくは役職員が会員である一人医師医療法人の場合は、保険料が5%割引となります。

【概要】新型コロナウイルスに**施設が汚染された場合**や火災、水災等の自然災害による休業のための損失を補償します。

※感染症による休業は2日目以降14日間を上限として500万を限度に保険金をお支払いします。

【お問い合わせ先】

株式会社メディコ北海道（北海道医師会指定保険代理店）

〒060-0042

札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館3階

担当：高橋 克弥

TEL 011-232-8878

✉ k-takahashi@m.doui.jp

URL <http://www.medico-Hokkaido.co.jp>

